鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七（22）七六七六

2月1日号
2017年（平成29年）
第455号
毎月1日発行
（一部税込108円）
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町２丁目８番１３号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

段葛に焦点あてた歴史書

「鎌倉千年の歩み」発刊に市民ら協力

昨年3月、2年にわたる改修工事が完成した鎌倉・若宮大路の段葛に焦点を合わせて鎌倉の歴史書『鎌倉千年の歩み～段葛からのオマージュ～』が発行された。

著者は元神奈川新聞記者で現在、鎌倉朝日の「ひと」欄の連載をしている綾瀬市在住の浅田勁（つよし）さん（72）。鎌倉時代から近世にかけての歴史研究がライフワークで、定年後も歴史書の出版や新聞への寄稿など執筆活動を続けている。

本著は、昨年1月から神奈川新聞に「段葛再生～歴史の舞台を歩く」の題で行った10回の連載記事に加筆した22項目に、元鶴岡八幡宮宮司・白井永二氏の「段葛考」、同新聞3月29日付の鶴岡八幡宮・吉田茂穂宮司、鎌倉商議所・久保田陽彦会頭、市観光協会・井出太一会長の鎌倉のあり方についての座談会の記事を収録。鎌倉の年表や「近世からの段葛の風景」の写真、「私の段葛ストーリー」として段葛になじみ深い人たちの思い出話も載せている。

浅田さんが利用している鎌倉駅東口の会員制私設図書室「かまくら駅前蔵書室」の鈴木章夫さんに「連載をまとめて本にできないか」と相談をもちかけたのがきっかけで写真撮影を同蔵書室会員の佐久間芳之さんや松藤飛洋さん、表紙の絵を水彩画家・矢野元晴さん（28）が担当。思い出話を語るオーボエ奏者・吉井瑞穂さんも会員の一人。

浅田さんは「皆さんのおかげで本ができた。段葛に焦点を合わせた歴史書はこれまでにないのではないか」と喜びを語る。

1404円、歴史探訪社刊☎0467・55・8270、かまくら駅前蔵書室でも販売中☎0090・6145・9493

左から蔵書室の鈴木さん、著者の浅田さん、表紙の原画を持つ矢野さん

夜回りランニングで街をパトロール

市民と逗子警察署がコラボ

地域の同級生感覚で逗子の30代がつながるグループ「逗子30S（さんじゅうず）」のランニング愛好者らが3年前から始めた「夜回りランニング」の活動が評価され、逗子警察署との協力・連携体制が決まった。活動時に使用する腕章や蛍光タスキなどの防犯グッズの贈呈式が1月12日逗子警察署内で行われ、4人の代表メンバーが来署＝写真。

伊東博志署長から「人が手薄になる夜間に活動してもらえることが大変心強い。若い世代に防犯や交通安全の意識が広がることを期待している」と感謝と激励が伝えられ、今後の活動や防犯情報の共有など確認した。

田中美乃里代表（39）は「日中仕事がある世代が夜のランニングを始めてから防犯活動にも役立つことに気づいた。市外からも真似したいという声があり『夜回りランサミット』のような流れになれば」と夢をつなぐ。

夜回りランは毎月最終水曜日の夜に開催。約80人のメンバーが自由に参加している。集合時間と場所はその都度変わるため、参加の際は電話かフェイスブックで確認を。年齢を問わず誰でも参加できる。服部さん☎080・5095・5763

鎌倉みほとけ紀行 (67)

建長寺・心平地蔵像

文 永井宗直
写真 原田 寛

題字は建長寺派管長 吉田 正道

新しい年、昨年よかった人もわるかった人も、心機一転。今年も元気でまいりましょう。

さて今年のはじまりは建長寺の心平地蔵です。建長寺は我が国最初の中国宋代、純粋禅の道場として知られ、鎌倉時代の新しい武家文化に多大な影響をあたえました。心そのものを問う禅の教えは人々の関心を高め今に受け継がれています。

1253年（建長5）北条時頼はこの地に禅の一大道場を開きます。しかし周知のとおり鎌倉は谷戸が多く、理想の伽藍配置を確保するには、大変な苦労があったことでしょう。

この地は地獄谷とよばれる罪人の刑場で、そこには法華陀山心平寺という仏堂があり御本尊心平地蔵がまつられ、葬地として供養が行われていたそうです。普通では考えにくい不浄の地を清浄の大伽藍にしてしまうのですから時の流れというのか、禅のもつこだわりなき世界感は凄いものです。

心平地蔵はそんな建長寺草創の礎であり、衆生の苦を除き清め、大地を再生し、歴史に残る禅の名刹へと変わり行く建長寺と人々をずっと見守られていたのでしょう。

現在は建長寺仏殿、丈六（一丈六尺）の御本尊地蔵菩薩の脇、千体地蔵に囲まれておられます。右手に錫杖、左手に宝珠を持ち、右足を少し前に半跏趺坐される姿は宋風の豊かな量感があり、大悲の心というのか、慈しみ深いやさしいお顔をされています。

心平寺そのものは建長寺大伽藍建立の為、現在の巨福呂坂付近に移築されましたが、1886年（明治19）道路拡張により横浜市の三渓園に移築現存しています。

近年、海外からの参拝者も多く賑わう建長寺ですが、建長寺草創から心平地蔵は天下の安寧を願っておられるのです。

寄木造、玉眼。像高81・9㎝。南北朝時代。

鎌倉の年中行事 2月

▼節分祭 1日14時頃、大船観音寺。3日10時、森戸神社（葉山）。11時、建長寺。正午、長谷寺。13時、鶴岡八幡宮。13時半・15時、遊行寺（藤沢）。14時、龍口寺。15時、鎌倉宮・亀岡八幡宮（逗子）。

▼針供養 8日10時半、荏柄天神社。

▼紀元祭 11日10時、鶴岡八幡宮。建国を祝う。

▼大国祷会成満祭 11日、長勝寺。10時半水行。

▼初午祭 12日正午、佐助稲荷。14時、鶴岡八幡宮境内の丸山稲荷。農業神の大明神に豊作祈願。

▼涅槃会 15日10時、建長寺。13時、龍口寺。14時、光明寺。他各寺院。釈迦入滅の法会。

▼祈年祭 17日10時、鶴岡八幡宮。豊作祈願。

プロムナード

トウテンコウ。これは江戸時代のコケコッコーだそうです。同じ鶏の鳴き声でも時代によってずいぶん違います。服装もまたしかりです▼最近、鎌倉市内では着物サービスの影響もあり、和服姿の観光客を見る機会が増えています。華やかな和服姿には目を奪われますが、その中でも一際目立つ武士の姿がありました▼鎌倉もののふ隊。仮装をしているだけでなく、鎌倉時代の鎧兜を紙で作り、ツアーやガイドも行っているそうです▼座学では得ることのできない、実際に体験をすることで得られる魅力的な活動の一つであり、観光客だけでなく、鎌倉の魅力を再発見するため地元の方々にも楽しんでもらえるサービスだと感じました。（N）

鎌倉の街並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町5-5-9
TEL.0467(24)7777(代) FAX.0467(24)7005
http://www.kamakura-standard.com

鎌倉名産 梅花ほんべん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉駅より徒歩5分！ 鎌倉の葬儀専用斎場
カドキホール
御成町３－５
下馬四ッ角そば
仏式のほか、神式、キリスト、無宗教の方もご利用できます。
家族葬も行えます。事前相談もお気軽に！
詳しくはお電話かホームページで
http://www.kadoki.co.jp
TEL（0467）22-0562（代）
◎下馬四ッ角のマイパーキング鎌倉駐車場に契約してございます。
お車でお越しの方はご利用下さい。

1階から5階にグループ病院
6階から8階が有料老人ホーム
病院を併設した24時間体制の医療で安心の生活
新規入居5室の入居者募集
2月11日～ 施設見学会
入居申し込みは先着順のためお早目に
個別介護相談も承ります
介護付有料老人ホームの園 平塚では、昨年9月から入居可能な新規リフォーム済み居室の入居者を募集している。募集居室は、要介護居室3室と自立居室1室、夫婦居室1室の合計5室。個別相談にものってくれる。
同施設は、県内で病院・福祉施設・医療大学などを運営している「ふれあいグループ」が運営。平塚駅から徒歩10分の、湘南の自然と調和した住宅地として評判の袖ケ浜地区にあり、居室から見下ろす富士山や湘南海岸はまさに絶景。5階まではグループ医療機関の「ふれあいホスピタル平塚」を併設、人工透析センターも備わっている。また、施設内には常勤の作業療法士を配置し、リハビリにも力を入れている。この機会にじっくりご見学されてみてはいかがでしょうか。
介護付有料老人ホーム
湘南ふれあいの園 平塚
〒254-0813 平塚市袖ケ浜1-12
（平塚駅南口より徒歩10分）
お申し込み・お問い合わせ
☎0463-20-5501
湘南ふれあいの園 平塚 検索
ココ→